

VII 林業技術術

1 林業試験場の取組

(1) 試験研究

課題名		新継区分	予算区分	期間	内容
1	サガンスギ苗木の効率的な育苗技術の開発	継	県単	R5~7年	サガンスギの苗木生産量が少ない現状のなか、今後のサガンスギ需要拡大に伴う、山行き苗の生産拡大と安定供給に資するため、効率的な育苗技術の確立を図る。
2	新たな樹高成長評価モデルを活用した地位推定技術の開発	継	委託	R5~9年	航空レーザー測量、森林簿情報等による樹高成長推定モデルを構築し、林業採算性の高い場所を明らかにする。
3	ゲノム予測技術を用いたサガンスギの無花粉化に関する研究（将来を見据えた新たな試験研究推進事業）	継	県単	R5~7年	無花粉遺伝子が次世代に受け継がれた個体を選抜し、その個体にGS（ゲノム予測選抜）を適用することで、無花粉遺伝子をヘテロで有し成長や材質に優れた個体を実生段階で選抜する。
4	無花粉スギの生産・増殖効率の改善（育種場委託）	継	委託	R4~7年	無花粉遺伝子を有するスギ精英樹等の着花状況や種子生産状況等の特性調査を行うとともに、無花粉遺伝子を有するスギ精英樹と次世代スギ精英樹等を用いた人工交配を行う。
5	クリーク杭木の耐久性向上に関する研究	継	県単	R元~10年	クリーク木柵工に使用するスギ間伐材に対し、各種の耐久性向上処理を施すことにより、木柵工の耐用年数の向上を図る。
6	原木しいたけ栽培の省力化に関する研究	継	県単	R2~9年	原木しいたけ栽培において、加工した大径原木を用いた省力化の検討、春切り等による秋期の作業分散の有効性の検証、古ホダ木への発生操作の費用対効果の調査等を行う。

(R6.4.1現在)

(2) 優良種苗関係事業（種子・穂木採取）

区分		内容（令和4年度実績）
1	種子採取事業	スギ・ヒノキ・抵抗性マツの実生苗生産用の種子採取（壳却量） スギ [-] 、ヒノキ [2.0kg] 、抵抗性アカマツ [-] 、 抵抗性クロマツ [-]
2	穂木採取事業	スギ・抵抗性クロマツの挿し木苗生産用の穂木採取 スギ [146,900本] 、ヒノキ [-] 、抵抗性クロマツ（虹青） [-]

(3) 森林環境教育（体験学習）

年度	場内指導	
	対象者数（人）	実施回数（回）
R元	592	16
R2	337	11
R3	369	7
R4	271	6
R5	231	4
R6	249	5

2 普及指導

(1) 林業改良指導職員配置状況

農林事務所名	勤務場所	電話番号	職員数
佐賀中部	佐賀市八丁畷町8-1	0952-31-3284	3名
東部	神埼市神埼町鶴3542	0952-55-9762	2名
唐津	唐津市二夕子3-1-5	0955-73-1661	3名
伊万里	伊万里市新天町坂口122-4	0955-23-5171	2名
杵藤	鹿島市大字納富分2643-1	0954-63-5116	3名
林業試験場	佐賀市大和町大字池上3408	0952-62-0054	4名
計			17名

(R7.3.31現在)

※ 林業試験場には林業専門技術員 3名を含む。